

第2期仙台市教育振興基本計画案(12/5 第8回委員会資料)の主な修正箇所(案)一覧

修正箇所	頁	計画案(12/5 第8回委員会資料)	修正案
第3章 目指す仙台の教育の姿 1 育みたい市民の力	8	<u>ICT化</u> をはじめ、技術革新の一層の進展等により(略)・・・	<u>急速な情報化</u> をはじめ、技術革新の一層の進展等により、(略)・・・
第4章 基本的方向「仙台カラー」	14	カラー1 命と心を守り育む教育 カラー2 <u>安心を創る「仙台版防災教育」</u> カラー3 <u>未来に向けた「仙台自分づくり教育」</u> カラー4 連携・協働により広がる「地域とともに歩む学校づくり」 カラー5 アート・学びによる地域発見プロジェクト カラー6 伊達な歴史・伝統文化による魅力発見プロジェクト	カラー1 命と心を守り育む教育 カラー2 <u>未来に向けた「仙台自分づくり教育」</u> カラー3 <u>安心を創る「仙台版防災教育」</u> カラー4 連携・協働により広がる「地域とともに歩む学校づくり」 カラー5 アート・学びによる地域発見プロジェクト カラー6 伊達な歴史・伝統文化による魅力発見プロジェクト
第4章 基本的方向1「学校教育」 ミッション1:豊かな心の育成 施策2 互いを理解し思いやる心を育む取り組みの推進	17	児童生徒が発達段階に応じて、人権の意義・内容や重要性について理解し、自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができるよう、人権教育の充実を図るとともに、(略)・・・	児童生徒が発達段階に応じて、人権の意義・内容や重要性について理解し、自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができるよう、 <u>人権教育資料「みとめあう心」の活用等により</u> 、人権教育の充実を図るとともに、(略)・・・
第4章 基本的方向1「学校教育」 ミッション2:健やかな体の育成 施策1 望ましい食習慣・生活習慣づくりの推進 (欄外)事業説明:学校における食育の推進	18	学校における・・・(中略)・・・深め、望ましい食習慣を形成するため、食習慣に関する調査分析・年間指導計画・給食訪問での指導助言等を実施。	学校における・・・(中略)・・・深め、望ましい食習慣を身に付けるため、食習慣に関する調査分析・ <u>食育推進に関する研修会</u> ・給食訪問での指導助言等を実施。
第4章 基本的方向1「学校教育」 ミッション3:確かな学力の育成 施策1 幼児期からの切れ目のない教育の推進 これまでの主な事業 (本文・欄外)	19	—	(項目追加)中学校区・学びの連携モデル事業 (欄外説明)中学校区・学びの連携モデル事業:中学校区内の小・中学校が一体となり義務教育の9年間を通して系統的な教育を途切れることなく行うことができるよう、 <u>教員の相互の授業交流や学習習慣づくりなどを行う(平成23年度～27年度実施)</u> 。
第4章 基本的方向1「学校教育」 ミッション3:確かな学力の育成 施策3 学習が遅れがちな児童生徒などへの個に応じた指導や支援の充実 今後の方向性・取り組み	20	分かる喜びに結び付く個別指導やグループ指導、(略)・・・	<u>ICT 機器を効果的に活用した分かる授業づくりを進めるとともに</u> 、分かる喜びに結び付く個別指導やグループ指導、(略)・・・
第4章 基本的方向1「学校教育」 ミッション4:未来の創り手となるための力の養成 (欄外)用語解説	21	—	(欄外説明) <u>シティズンシップ教育:社会を構成する一員(市民)として主体的に行動する力や課題解決に取り組む力を育む教育。</u>
第4章 基本的方向1「学校教育」 施策1 防災教育の推進	21	防災教育の推進	<u>仙台版防災教育の推進</u>

修正箇所	頁	計画案(12/5 第8回委員会資料)	修正案
第4章 基本的方向1「学校教育」 施策1 防災教育の推進 現状や課題	22	震災後5年間で全校実施した研究推進取組発表校における実践などを踏まえ、・・・(略)	防災教育に係る研究推進取組発表校における実践などを踏まえ、・・・(略)
これまでの主な事業 防災教育に係る研究推進取組発表校 (本文・欄外)	22	—	(項目追加) 防災教育に係る研究推進取組発表校 (欄外説明) 防災教育に係る研究推進取組発表校:平成27年度から32年度までの6年間で全ての市立小・中学校が研究推進取組発表校となり、授業実践や災害時の家庭や地域との連携のあり方について研究・実践に取り組む。
第4章 基本的方向1「学校教育」 ミッション6:多様なニーズに対応した教育の充実 施策1 特別支援教育の充実 これまでの主な事業	23	特別支援学級指導支援員・特別支援教育指導補助員・特別支援教育介助員・看護師の配置 就学支援推進事業 特別支援教育コーディネーターの <u>全校配置</u>	特別支援学級指導支援員・特別支援教育指導補助員の配置 特別支援教育介助員の配置 看護師の配置 就学支援推進事業 特別支援教育実践研究協力校事業 特別支援教育コーディネーター養成・向上研修事業
今後の方向性・取り組み	23	●障害のある子どもへの支援を充実させるため、専門スタッフの配置を進めるなど、支援体制の充実に努めます。	●障害のある子どもへの <u>指導・支援</u> を充実させるため、 <u>教職員を対象とした特別支援教育に関する研修の実施や専門スタッフの配置を進めるなど、校内支援体制の充実に努めます。</u> ● <u>障害のある子ども一人ひとりの切れ目のない縦の支援(ライフステージに応じた一貫した支援)と横の支援(関係機関等との連携)を推し進めるための特別支援教育の充実に努めます。</u>
(欄外)事業説明	23	● <u>特別支援学級指導支援員・特別支援教育指導補助員・特別支援教育介助員・看護師の配置：在籍児童生徒が多い特別支援学級や通常の学級にける学級担任の指導補助・支援を実施。</u>	● <u>特別支援学級指導支援員・特別支援教育指導補助員の配置：在籍児童生徒が多い特別支援学級や通常の学級にける学級担任の指導補助・支援を実施。</u> ● <u>特別支援教育介助員の配置：小・中学校の通常の学級に在籍し、日常生活上介助が必要と認められる肢体不自由のある児童生徒に対し介助員を配置。</u> ● <u>看護師の配置：医療的ケアの必要のある児童生徒の学習や学校生活を支援するため、看護師を配置。</u> ● <u>特別支援教育実践研究協力校事業：小学校や地域の実情に合った特別支援教育の実践的研究を行う学校を認定し、通常の学級に在籍する発達障害等の児童生徒への具体的な支援方法や様々な授業実践例を、報告会や報告書により全市的な取り組みにつなげ、特別支援教育に対する理解を深める。</u> ● <u>特別支援教育コーディネーター養成・向上研修事業：特別支援教育推進のキーパーソンとなる「特別支援コーディネーター」を各学校に配置するための養成研修や、地域ごとの支援体制構築を促すためのコーディネーター連絡協議会等を実施。13年間で1,500名が受講。</u>

修正箇所	頁	計画案(12/5 第8回委員会資料)	修正案
第4章 基本的方向1:学校教育 ミッション6:学びのセーフティネットの充実 施策2 学びに困難を抱える児童生徒や市民の学び直しへの支援 (欄外)事業説明:外国人子女等指導協力者派遣事業	23	・・・(略)ボランティアの方々の協力による母国による指導・助言及び日本語学習支援を行い、自立的な学校生活を送れるよう学習支援を実施。	・・・(略)ボランティアの方々の協力により、母語・日本語による指導・助言や日本語学習支援を行い、自立的な学校生活を送れるよう学習支援を実施。
第4章 基本的方向4:教育環境 ミッション1:教職員がより子どもに向き合える体制づくり 施策1 教職員の多忙化解消の推進 今後の取り組み	34	給食費の・・・(中略)・・・講じるなど効果的な業務見直しを検討します。	給食費の・・・(中略)・・・講じるなど効果的な業務見直しを検討するとともに、校務支援システム導入による情報の一元化により転記誤り等のリスク軽減を図るなど事務の効率化をさらに推進します。
第4章 基本的方向4:教育環境 ミッション3:子どもたちの安全・安心の確保 施策1 学校内や通学路における巡視 これまでの主な事業	35	—	(追加) <u>学校支援地域本部による地域ボランティアの巡視活動</u>
第4章 基本的方向4:教育環境 ミッション5:ICT教育環境の整備・充実 施策1 ICTを活用した教育を進めるための基盤の適切な整備 今後の方向性・取り組み	37	タブレット端末など先進的な機器の効果的な活用を検証しながら、学校のICT環境の整備を図ります。	タブレット端末などの情報機器の効果的な活用を検証しながら、学校のICT環境の整備を図ります。
第4章 基本的方向4:教育環境 ミッション6:学びのセーフティネットの充実 施策1 教育を受ける機会均等の確保 今後の方向性・取り組み	37	<u>小・中学校児童生徒のいる世帯に支援制度の確実な周知を行うとともに、より分かりやすい案内チラシを作成するなど、制度の活用を図り、安心して学べる環境づくりを進めます。</u>	<u>就学の支援を必要とする世帯において、各種支援制度の活用が十分に図られるよう、より分かりやすい案内チラシの作成などの工夫により、小・中学校の児童生徒のいる世帯に対する周知を確実に図るなど、安心して学べる環境づくりを進めます。</u>